

12月号

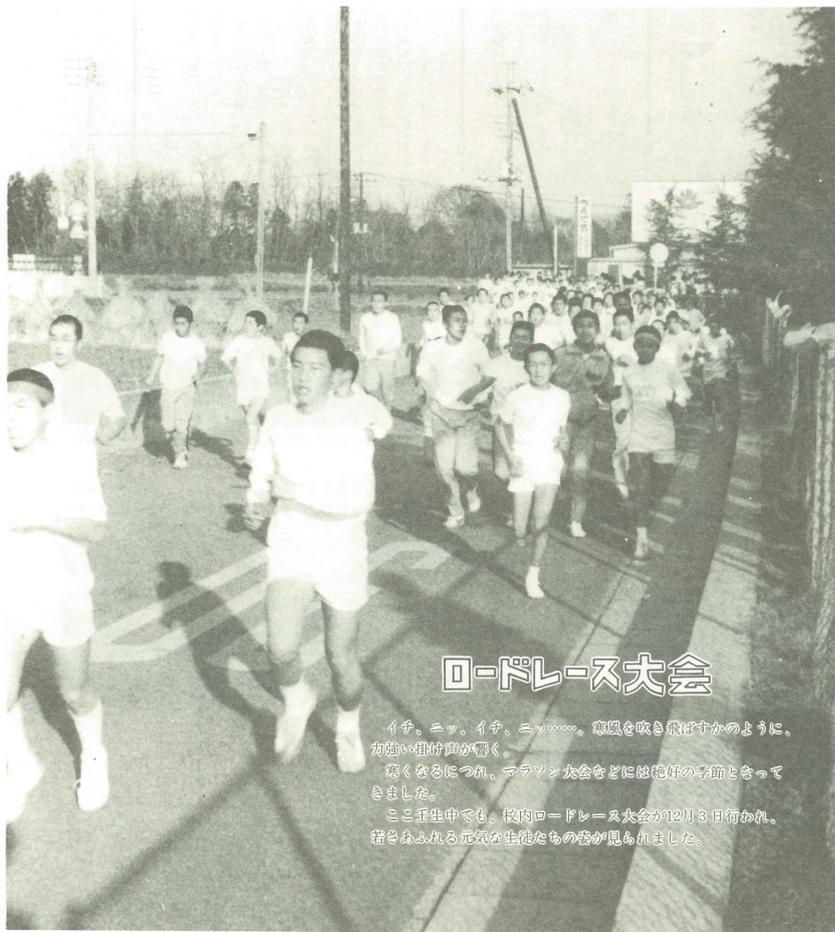
みぶ

広報



町の花 ゆりがお

発行 栃木県壬生町 昭和57年12月15日



ロードレース大会

イチ、ニツ。イチ、ニツ……。寒風を吹き飛ばすかのように、
力強い掛け声が響く。

爽くなるにつれ、マラソン大会などに越境好の字節と成って
きました。

ここ壬生中でも、校内ロードレース大会が12月3日行われ、
嬉々あふれる元気な生徒たちの姿が見られました。



待望の町民の歌ができ中央公民館で発表会(6月)



昭和五十七年も残りわずかとなり、もうすぐ新しい年を迎えようとしていきます。町内では、いろいろなことがたくさんありました。そこで、今年一年間の主な町の話題を広報紙面から拾いあげ、簡単にふりかえってみました。

昭和57年をふりかえって

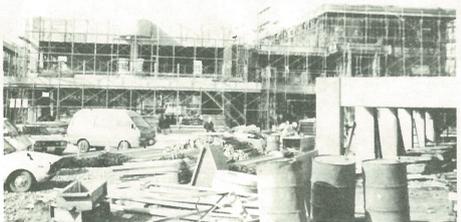
紙から 報が 広面

無投票で当選した楡井町長が町職員の拍手の中を初登壇(4月)



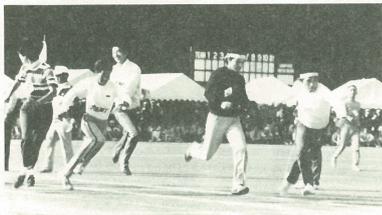
町盆踊り大会は今年は大通りで行った(8月)

心身障害者授産施設「陸作業所」が開所(4月)



57・58年度の2カ年継続事業で南大中の校舎増改築工事に6月30日着手、現在工事が急ピッチで進められている

3年に一度の町民体育祭が盛大に行われた(11月)



今年の主なできごと

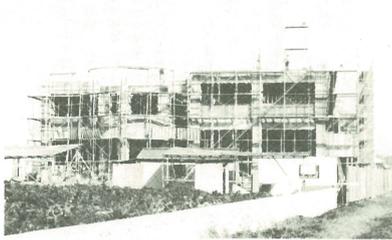
- 1月
 - 各界代表者の出席を得て、新年祝賀式中央公民館で開く
 - 中央公民館に五二八人の新成人を迎え、第三十三回成人式行う
- 2月
 - 町水道課が中央配水場へ移転
 - 清掃センターが竣工し、稼働始める
 - 待望の町民の歌が決まり、これを制定
 - 新婚農業後継者激励会および結婚相談員に感謝する会中央公民館で開く
- 3月
 - 壬生中体育館が落成、校旗と校歌もでき、開校記念式典と合わせ新旗樹立、校歌発表会開く
 - 町青少年クラブが二十周年記念式典を中央公民館で開く
- 4月
 - 佐藤正香町長退職
 - 町長に楡井章三氏が無投票当選。町議会議員選挙が行われ、三十名の新議員も決まる
 - 臨時町議会が開かれ、議長に梁島庄左エ門氏、副議長に北條典彦氏が就任
 - 農村婦人の家、富士見荘、陸作業所、第五保育所が開所
 - 県道小山・今市線、真岡、壬生線の一部、国道三五二号線へ昇格
- 5月
 - 働く人たちの祭典、第五十三回統一メーデー行われる
- 6月
 - 鯉沼一進助役が退職
 - 南大飼中の校舎増改築工事始まる
 - 第三十三回全国植樹祭が矢板県民の森で開催される
- 7月
 - 助役に清水生一氏就任
 - ノーマイカイ・デー運動がスタート
- 8月
 - 羽生田土地改良区が発足し圃場整備事業に着手
 - 恒例の町盆踊り大会、大通りを会場に行う
 - 文書数を削減し、自治会長さんの負担軽減をはかるため、広報みぶお知らせ版を発行
- 9月
 - 川野辺弘二取入役退職
 - 南大飼公民館新築工事始まる
 - パイパス北入口に電光表示盤を設置
 - 母子健康センター廃止される
- 10月
 - 教育委員会事務局が旧壬生中管理棟へ移転
 - 第五回老人スポーツ大会が総合運動場で行われる
 - 文化協会主催の第四回文化祭開かれる
 - 巴波川流域下水道浄化センターが使用開始される
- 11月
 - 自治功労者十一名を表彰
 - 五十五チームが参加して、町民体育祭行う
 - 自治会連合会主催による町政懇談会開かれる
 - 栃木県知事選挙行われる
 - 中学新人野球北関東大会で壬生中初優勝
- 12月
 - 消防団通常点検を壬生小校庭で行う
 - 役場本庁と支所間がファクシミリで結ばれ、各種証明がどこでも取れるようになる



清掃センターが完成し1日50トンのゴミ処理が可能になる(2月)

壬生町民憲章 自然と歴史を大切にしよりよい環境をつくります

1月は「家庭対話の月」です



来春3月完成をめざし勤労青少年ホーム隣に建設中の南犬飼公民館

まちの台所は

昭和57年度上半期

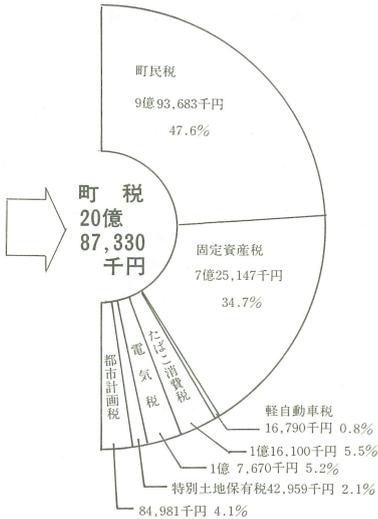
このように

(4月～9月)

みなさんが納めた税金を地方交付税がどのくらい使われているか……。市民のみなさんに町の財政状況を知っていただき、今後とも協力いただけるため、毎年一回、五月と十一月に町の財政状況を公表しています。
今回は、昭和五十七年度予算のうち四月から九月までの上半期の状況(四頁、五頁)と昭和五十六年度の決算状況(六頁、七頁)についてお知らせいたします。



町税のうちわけ (57年度予算から)

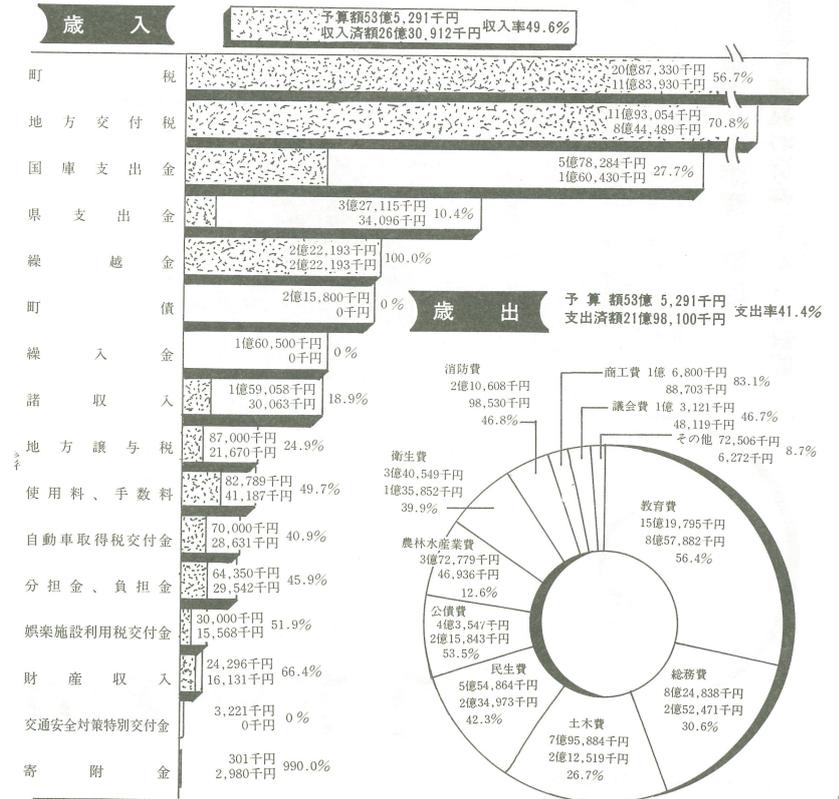


特別会計予算の執行状況

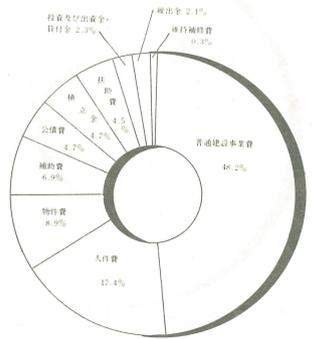
昭和57年 9月30日現在 単位：千円

区分	会計名				
	国民健康保険	公共下水道	国谷区画整理	奨学資金	上水道
予算額	1,317,078	419,042	162,129	1,602	取益的 282,167 資本的 収入 444,475 支出 486,612
歳入済額 (収入率)	558,031 (42.4%)	115,568 (26.6%)	39,247 (24.2%)	1,608 (100.4%)	0 (50.2%)
歳出済額 (支出率)	415,628 (31.6%)	108,782 (26.0%)	37,698 (23.3%)	851 (53.1%)	17,308 (3.6%)

一般会計予算の執行状況 (昭和57年 9月30日現在)



③ 性別別歳出状況 (普通会計)



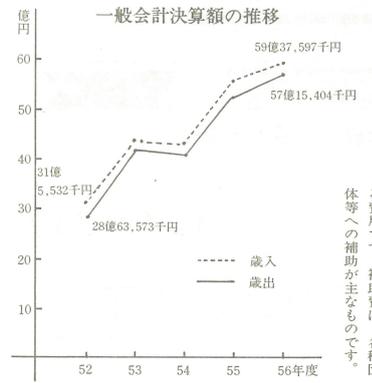
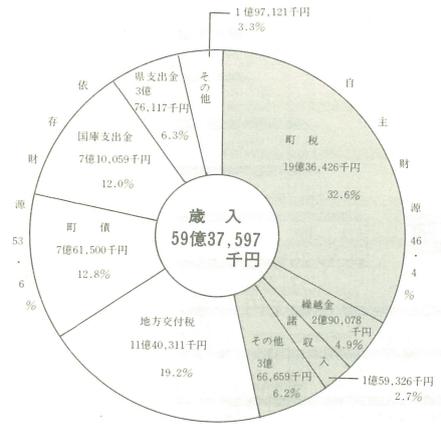
清掃センター、学校体育館を建設
町道、農道など整備

昭和五十六年度の一般会計の決算額は、歳入五十九億三七五九万七千円、歳出五十七億一五四〇万四千円となつています。これを前年度と比べると、歳入では六・七パーセントの増、歳出では八・三パーセントの増でした。

グラフ①は、歳入の決算の割合を示したものです。グラフから地方交付税や町債などの「依存財源」が、総収入の五三・六パーセントを占め、町税など、自主財源が四六・四パーセントであることがわかります。前年度と比べ、依存財源が三・〇パーセント増加しています。

のあらし

① 歳入の状況 (一般会計)



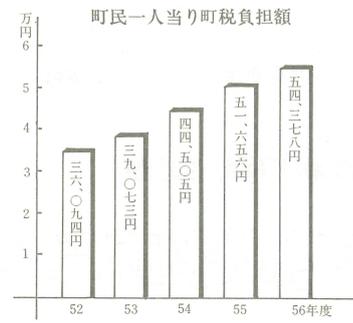
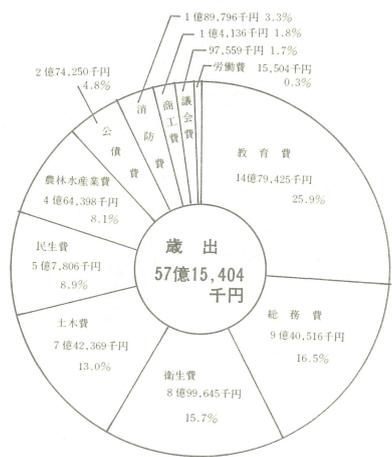
使われているか。歳出は、グラフ②のとおりです。教育費、総務費、衛生費、土木費、民生費の順になっています。

また、グラフ③は性別別歳出の状況です。全体の四八・二パーセントを占める建設事業費は、増大するゴミ処理に対応するための清掃センターの建設をはじめ、壬生小学校校舎増設、壬生中学校校舎建設など義務教育施設の整備、さらに、町道、農道整備、新農村婦人の家、心身障害者授産所などの公共施設の整備などによるものです。

次いで人件費は、職員などの給与に当たります。物件費は、事務に関する消耗品や備品に用いる費用です。補助費は、各種団体等への補助が主なものですが、

56年度決算

② 歳出の状況 (一般会計)



足額は建設改良積立金および損益勘定留保資金で補てんしました。

特別会計 決算状況

国民健康保険
国民健康保険特別会計の決算は、歳入が一億四二八万四千円、歳出が一億二七七万七千九百九十九円となりました。

歳入歳出の差引額は、六八五〇万五千円となり、このうち三三〇〇万円を国民健康保険給付基金に積立、残額三五〇万五千円を昭和五十七年度に繰越しました。

公共下水道事業
公共下水道事業特別会計の決算は、歳入が四億一三六万三千円、歳出が四億一三六万三千円となり、残額二二六万九千円を昭和五十七年度に繰越しました。

国土地区画整理事業
国土地区画整理事業特別会計の決算は、歳入が二億四七二万八千円、歳出が二億二七二万五千円となり、残額二〇〇万一千円を昭和五十七年度に繰越しました。

水道事業
水道事業会計は、収益取支では総収入額二億二七二万七千九百九十九円、総支出額二億一九一七千円となり、資本取支では、総収入額六億一五七万五千円、総支出額六億四六八万八千円で、収支不

学基金
奨学資金特別会計の決算は、歳入が六八万三千円、歳出が六四万四千円となり、残額一四万三千円を昭和五十七年度に繰越しました。

地方債現在高

一般会計	3,394,126千円
教育	1,482,484
土木	406,262
衛生	245,226
対農	578,104
労働	248,862
その他	99,621
国谷土地地区画整理事業	80,000千円
上水道事業	1,939,368千円
公共下水道	803,462千円

役場にフアクシミリ 戸籍謄(抄)本・印かん証明など 本庁・支所どちらでも取れる 十二月一日から利用始まる

役場の窓口には、電話を利用し、みづを電送する装置フアクシミリを設置、十二月一日から印かん証明や、税証明などの各種証明書を、役場本庁、福業支所、南大岡支所のこの窓口でも、取るようになりまし。

この窓口業務の事務改善については、町の皆さんから要望が多く出されたので、その要望を踏まえ、検討してきた結果、フアクシミリを導入して、窓口業務のサービスを図って行くことになったものです。



本庁へ電送し写を待つ支所



支所へ写を送信する本庁

印かん証明書、税証明書などが、本庁に登録した人も支所で交付が受けられますし、また、支所に登録した人でも、本庁で交付を受けることができます。必要となる場合は、自分で一番取りやすい所で交付を受けてください。

登録もOK

任期満了に伴う、県知事選は、十一月二十八日、午前七時から午後六時まで、県下一斉に行われ、本町でも中央公民館をはじめ十八投票所で投票が行われました。

町投票率四九・〇九% (県四六・一八%)

また、開票は午後七時十分から中央公民館で行い、午後九時二十分終了しました。

町選挙管理委員会では、広報車等でPRにつとめた結果、今回の投票率は四九・〇九%で前回の四二・八九%を六・二%上回りました。

各投票所の状況

投票所	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
中	4,229	2,268	53.63
央	1,666	899	53.96
公	960	436	45.42
民	833	419	50.30
館	4,795	2,190	45.67
寺	767	453	59.06
公	1,011	501	49.55
民	544	261	47.98
館	954	458	48.01
校	725	290	40.00
民	441	241	54.65
民	441	245	55.56
館	545	326	59.82
館	427	230	50.43
民	466	235	50.46
館	1,861	729	39.17
館	1,326	581	43.82
計	24,621	12,087	49.09

小昔 昭三 四五九票 (県二二・六〇一票)

○投票者数 男五、九三三人 女六、一四四人

○棄権者数 男六、二六八人 女六、三三八人

窓口業務のサービスは交付が受けられるばかりでなく、住民登録や印かん登録も自分で便利なところの本庁で受けられます。このフアクシミリの仕組みは、支所で申請した場合、先ず、申請者から出された申請書を申請送信機に入れて本庁に電送、本庁ではその電送された申請書を受信して、台帳を検索した後に、フアクシミリの利用者には皆さんですぐに活用してください。

自治会連合会が町と懇談会を開く



意見、要望が多く出された懇談会

住民の要望を町政に反映していただくこと、町と自治会連合会(松本方理事長)との懇談会が十一月十三日午後三時三十分から役場正庁において開催されました。

自治会連合会事業の一環として行われたもので、町政に対する意見、要望等をあらかじめ自治会つとに取りまとめたものを持って、自治会長さんが懇談会に望みだました。

要望等につきましては、生活に直面で、道路関係が最も多く、次いで水道関係、ゴミ関係、墓地関係、社会教育関係、その他となっていました。

町では意見要望に対して、すぐ実行できるものに対して、すぐ実行できないものに対して、四十五項目について一問一答の懇談方式で、その都度答弁して進められました。

化してきており、質、量ともに悪化の傾向にあること、「犯罪者」の半数を少年が占めるなど、全国的に戦後最悪の状況になってきています。

町では、このような実情を踏まえて懇談会をもつたもので、懇談会は、青少年の健全育成に悪影響を与えているビニール本の自動販売機撤去の問題が中心に進められました。

が結ばれ設置されているもので、すぐに撤去と言ってもリアルブルが起きる可能性があり、契約更新時に土地所有者のご協力をお願いして、撤去のしかありません。新設の自販機は、わいせつな内容に、藤岡町の町目指し、各団体を通して呼びかけていくことになっています。

その他、青少年非行を防止するため、大人の社会で処理できるものは大人が責任をもって処理し、非行のない明るい地域社会を築くため取り組んでいきますので、皆さんもご協力をお願いします。

県青少年保護育成懇談会開く 手はじめにビニール本販売機の撤去を



活発に交わされた懇談会

青少年の非行を防止しようと、全国青少年健全育成強調月間にあたり、十一月十日役場正庁において、県、町から関係団体の代表者十七名が出席して、県青少年保護育成懇談会を開催しました。

最近、青少年の非行が低年齢化してきている自動販売機撤去を望まれている



横山茂氏

横山茂氏が 人権擁護委員

十月十五日付で壬生甲八八番地(東下台)の横山茂氏が、新しく人権擁護委員として職務

大臣から委嘱されました。人権擁護委員は、地域住民の人格、識見高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある適任者が町長が推せんし、法務大臣が委嘱しているもので、本町では横山さんを委嘱して五人の方々がいます。仕事は、地域の人々の人権が犯されることのないよう監視し、もし、人権が犯された人がいた場合は、被害者や加害者などから十分意見を聞いて、適切に処置をとるとともに、人権思想の普及高揚につとめています。

町発展への功績たたえ

自治功労者十一人を表彰

政治、経済、社会、その他各方面にわたり、町の発展に寄与された方や他の模範となる行為のあった方を表彰する自治功労者表彰式は、文化の日の前日、

十一月二日、役場正庁に多数の来賓を迎えて行われました。今年、対象となった方々は十一人で、受賞者には、町長から表彰状と功労章（町章）、記念



町長より表彰状を受け取る自治功労者

11月の町内価格調査結果 (△は減)

品名	単位・品質	最低値～最高値	平均	前月対比
農	小麦粉	1 kg 薄力粉	円 163～210	円 192 3.2%
	豚肉	100 g もも肉	150～198	178 △ 2.2
林	サラダ油	100 g ピン入り	479～688	590 1.5
	砂糖	1 kg 上白糖	189～300	243 0
関	しょう油	1 l 濃口ポリ入	198～530	294 3.8
	塩さけ	100 g	160～330	238 2.1
物	サバ缶詰	220 g	98～140	118 △ 0.8
	インスタントコーヒー	150 g	858～1,200	1,014 1.8
資	キャベツ	1 kg	65～150	113 △ 13.1
	卵	10個入(M)	169～235	207 31
通	ちり紙	1,200枚 ソフト紙	178～298	222 1.8
	トイレットペーパー	1.14×65m 4個入	148～195	180 2.2
産	洗濯剤	2.65kg	780～910	873 0.1
	粉石けん	2.4kg	580～850	702 △ 8.5
係	ラップ	30cm×20m	128～198	177 △ 3.3
	灯油	18 l 配達料込	1,800～1,890	1,856 3.1
物	プロパンス	5 m ³ 以上使用	2,640～2,750	2,658 0
	ガンリン	1 l 現金レギュラー	166～183	173 0

品が贈られ、その功績をたたえました。
受賞者は次の方々です。(順不同、敬称略)
○町に対し、一件五十万円以上の金品を寄附した者(法人を除く)ただし、受賞者の当該受益に関する寄附を除く
大宮市大和田町一丁目二四四番地の七
北原 信徳
○通算により、十二年以上町議会議員、農業委員会委員、教育委員会委員、選挙管理委員会委員

- 員、固定資産評価審査委員会委員の職にあつた者
壬生乙二九〇番地二 石塚 正義
- 助谷八六八番地 桑川 正三
- 安塚一三三番地 戸崎 良作
- 壬生甲一三二番地 出井 松治
- 助谷八六六番地 桑川 敏雄
- 上田一〇一六番地一 松野 幹
- 大垣 武勇
- 二十年以上町職員として勤務し、成績優れ功労があつたと認められる者
壬生乙一五三七番地一 人見 治男
- 壬生丙二番地三 田中 ヨシ

藤井の山川さんら五人が入賞

旧壬生中で県かんぴょう品評会

かんぴょうの生産技術の向上、品質改善、消費拡大をねらった県かんぴょう生産流通連絡協議会主催の県特産かんぴょう振興大会(かんぴょう品評会)は、十一月九日、十日の二日間、旧壬生中体育館で開かれました。品評会には産地となつている本町をはじめ、宇都宮、小山、鹿沼、石橋、上三川、国分寺、二宮の三市五町から三十七点が出品され、本町からは十五点出



かんぴょう審査会風景

初日(九日)に審査が行われ、品質、水分、調整比率、亜硫酸含有量および一梱の取数の面において厳しくチェックされました。同日の十日、翌日の十日には入賞者の表彰式や記念講演、銅賞に三人、奨励賞に一人が入賞しました。また、翌日の十日には入賞者の表彰式や記念講演、銅賞に三人、奨励賞に一人が入賞しました。また、翌日の十日には入賞者の表彰式や記念講演、銅賞に三人、奨励賞に一人が入賞しました。

環境整備に尽力の飯田さん 厚生大臣賞受ける

多年にわたり地区衛生組織活動を通して、清掃等生活環境の整備改善に尽力、そして地域から



町へ挨拶に訪れた飯田さん(左)

事業所統計で町が知事賞を

松本さん、安生さん統計功労賞

昨年実施された事業所統計調査の成績がきわめて優秀であったとして、壬生町が栃木県知事から表彰を受けました。

松本さん(左)と安生さん(右)が、事業所統計調査の功績をたたえ、知事賞を受賞しました。また、城内の松本万里さん



受賞した松本さん(左)と安生さん(右)

た。審査の結果、本町では上位入賞になりましたが、藤井の山川喜さんの銀賞をはじめ、銅賞に三人、奨励賞に一人が入賞しました。また、翌日の十日には入賞者の表彰式や記念講演、銅賞に三人、奨励賞に一人が入賞しました。

県知事から

感謝状

東下台の清水さん



感謝状を手に喜びの清水さん

東下台の清水正三さん(左)は、十月十四日栃木県公館で行われた国民年金功労者表彰式の席上、栃木県知事から感謝状をいただきました。これは、清水さんが昭和四十五年から現在まで、国民年金委員として、常に制度の趣旨に従い、特に民生委員の役職(十二年)を生かして、保険料納付および免除の指導など、被保険者の立場に立つて個別指導を行って、年金事業の推進に努められた功績によるものです。

入内容等が正確であったことなどが評価されたものと思われ、ご協力くださった方々に厚くお礼申し上げます。また、松本さんと安生さんについては、国勢調査をはじめ、事業所統計調査、商業統計調査、工業統計調査などの各種統計調査の調査員として尽力され、このたびその功績が認められ表彰されたものです。統計調査につきましては、毎年各種統計調査を実施していますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

づくりへ 芸術の祭典・文化祭開かれる

「情操豊かな文化の町づくり」の催しが繰り広げられました。その催しのほとんどが人の集まる日曜、祝祭日に行ったので、多くの人の参加をえて訪れた人々を驚かせてくれました。今回は、この文化祭をカメラで追ってみました。



自慢のノドを聞かせてくれた民謡大会(上)と吟詠大会(下)



参加者の多かった音楽祭



立派な作品が多かった写真展(右)、文芸展(右)、美術展(右)、書道展(右)



日頃の練習の成果を披露してくれた邦楽会



ふじの花に感心... (華道展)



観客を魅了した日本舞踏会

情操豊かな町



自慢の腕を競った将棋大会(上)と囲碁大会(下)



心にやすらぎを与えてくれた



寺宝館を無料公開(文化財展)



丹精こめて作られた作品がすばらしい... 盆栽展(上)と菊展(右)



菊づくり教えています

後継者育成に励む中島さん

みぶ
菊づくりの後継者を育成しよう
と、万町の中島福太郎さん



菊の手入れをする中島さん

菊づくりには、菊づくりにかけては、この道三十年のベテランで、国体の時には菊花会の一員として、皆さんと一緒に花壇に菊を飾り、華やかな色とりを添えてくれました。また、毎年時期になると役場へ自分で作ったみことな盆栽菊を届けてくれた

万町

菊づくりの大好きな中島さんは、最近、菊の栽培をする人が減ってきたので、何とか後継者を育成しようとして、今年の五月頃から自宅で菊づくりに教えるようになり、昨秋、産葉土作りや大菊盆養三本仕立の基本、懸崖盆栽、嵯峨菊など、毎月第一日曜日の午前九時～十二時まで無料で教えているそうです。

受講生は、ほとんどが初心者ばかりですが、将来は町の文化祭にも出せるようになりたいと

町史編さん だより ⑬

民俗 その一

地域社会の歴史を理解するためには、支配層の人々について調べることももちろん大切ですが、住民の大部分を占めた庶民の生活の中から、長い年月をかけて生れた有形、無形の文化の様子を明らかにすることも、忘れてはならないことと思います。



草履作り台

が作れるよう指導していきたいと張り切っています。現在も受講生を募集しているそうです。

私たちの町にあっても、祖先のくらしの様子を今に伝える民俗学が盛んになったのは、近年、これらのことを研究するに専らしいことですが、反面、これら貴重な文化遺産が戦後急激に失われつつあることは、皆さんもよくご存知のとおりで、本当に残念なことです。

従って、これらの民俗資料を、緊急に調査して保存し、子孫に正しく伝えることは、私たちに課せられた責務ではないでしょうか。本町においてもこのような考えで、町史編さんを進めており、専門の先生方が民俗調査を実施していますので、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。皆さんのご協力をいただくと、これら何回かに分けて、民俗資料の内容を紹介する予定です。

で、興味のある方は一度行って菊を手がけてみてはいかがでしょうか。

カメラスケッチ



新鮮な野菜を安価で消費者へ

4H、生活改善クラブが即売会

4日クラブ(川又久雄会長)と生活改善クラブ(山川好子会長)では合同で10月31日、中央公民館前とひばりヶ丘町営住宅公園広場の2か所で、野菜や手づくり食品の即売会を行いました。

新鮮な野菜を安価で食べてもらおうと、4H、生活改善クラブが毎年行っているのもで、会員の栽培したごぼう、大根、ネギ、白菜と、手作りまんじゅう、漬物、手打ちそば等を販売、午前10時の開始とともに、大ぜいの客がためかけ、約1時間ではほとんどが売り切れたいへん好評でした。



六美会館で文化祭

地域住民の連帯感深まる

地域住民の連帯感を深めようと、六美会館(角田茂之館長)主催による六美町文化祭は、11月13日～14日の二日間、六美会館で開催されました。

この催しは、今年で2回目で、昨年好評だったことから今年も実施したもので、短歌や俳句をはじめ絵画、生花、盆栽など、地域の人たちが作った409点が展示され、訪れる人たちの目を楽しませました。

また、この2日間で昨年を上回る約280人の参観者があり、大成功に終わりました。

くらしの互知

文化祭文芸部入選作
短歌
奥村 トシ
兄の茶毘かに点火せる音ききて
両手に数珠を握りしめたり
田中 健一
妻と娘の今日の仔細が風呂場よ
り聞こぬ酔ひの浅き眼りに
若林 圭子



俳句
佐藤 淑子
のぼり窓崩れし跡の草紅葉
山田 柳子
雲の結ゆつたり茶臼音の秋
松島 敬子
床を蹴る女剣士や薄紅葉
葵生川松一
赤蜻蛉触れそに飛び触れもせ
ず

子供服を買う時のヒント

子供服を買う時は、洗濯に耐えられる素材を選びましょう。子供は運動が激しく、汗かきで汚しやすいものです。綿は丈夫で吸湿性も優れ、家庭洗濯にも耐えられる、最適な素材です。冬には、毛が軽くて暖かく、着心地も良い素材を選びましょう。洗剤による取縮の心配もありません。混紡も上手に取り入れましょう。丈夫で縫製がしっかりしており、シワやテアサインが子供の愛らしさを引き立てます。ゆるみが多過ぎると、既製衣料呼びサイズにより、決められていきます。子供の成長は個人差が大きいため、符号が当てはまらないことがよくあります。試着させるのが良いのですが、できなければ、採寸法を測りサイズを参考を決めます。

ぼくとわたしのコーナー

すてきなピクトリア号



壬生小6年 荒原 昭裕

船が進み出し甲板に立つと強く冷たい風が、よけい冷んやりと顔に当たります。ぼくたちの船ささぎるよう思えた。ぼくたちの修学旅行の遊覧船ピクトリア号である。ピクトリア号は、世界最大の超豪華戦艦「サプリン・オブ・シース」をモデルに設計したものである。

ぼくは、周りの景色がよく見える所を探した。船の中をぐるぐると歩いた。初めて乗った船の中の様子を知らなかったためもあった。そして、一番前の甲板で見ることにした。紅葉をはじめた周りの木々、どこかの別荘でもあのようなすばらしい家々、と、さっと見えなくなりました。とまもなく景色がかわった。周りの景色は見えなくなりました。とまもなくまた、きりが暗れた。景色が消えたり現れたり、まるで映画でも見ているようだった。波はおだやかに、ぼくたち

修学旅行



壬生小6年 荒川 幸子

の修学旅行を心から迎えてくれるようだった。その中を、ピクトリア号は進んだ。船の前に黄金の騎士像があったが、その人が命令しているみたいだった。僕は、そんなピクトリア号がたくましく思えた。だれだっつてそう思うだろう。色もきれいで、きりの中でも堂々と進んでいくからだ。もう一度乗って周りの景色を見てみたい。そう思っている。芦ノ湖をくぐつと見わたした。ピクトリア号がじつとみつめた。そして、ゆつくりと足を動かしてバスへ乗りこんだ。

十月十九日の早朝四時起床。いつもは夢の途中なのに、なぜか、今朝は「ぼつ」と目がひらいて、頭はすっきり学校を六時に出発しました。見学場所は、羽田空港、鎌倉八幡宮、大仏、江の島マリナランド、大涌谷、箱根関所、小田原城とぎつり計画がっ

壬生史跡めぐり



260

堀切(羽生田)

壬生町のほぼ中央を流れる黒川は、昔、羽生田から上稲葉にのびる峯山丘陵によって、直流をはばまれ、丘陵の西側を大きく湾曲して流れていたが、この峯山の丘陵を堀割って南に直流させる大工事を見事完成させたのは、寛永十五年(一六三八)。



堀切

壬生城主となつた三浦摩守正次であった。これは当時の領主として、領内の田畑をふやし、税の増収を図ると共に、洪水災害を防ぐために行われたもので、峯山の西側河川であったころは、広い美田が今もひろがっており、また昔を物語る下河原、上河原、下河原、天神河原などの地名も残っている。

堀切の松は、大きな枝振りのよい松が繁っていたが、枯れてしまひ、後つぎの松も植えられたが、また枯れてしまつたので、新しいことである。七ツ石の小倉さん宅には、八幡宮が祀られ、善家の自作と伝えられる盃台が伝わっている。

「筆者 藍田」

